

梶間さとしは実現めざします

くらし・家計を応援

- 国保税・介護保険料の引き下げ
- 上下水道料金の引き下げ
- 物価高・資材不足の事業所調査と支援
- 水害対策の推進、災害に強いまちづくり

子育て・教育を応援

- 18歳までの国保税均等割ゼロ
- 教育費(通学カバン、教材費など)の保護者負担の軽減
- 給付制奨学金と奨学金返還補助の創設

福祉・交通の充実

- 高齢者の補聴器購入に補助
- ケア労働者の処遇改善に市が独自支援
- 特定健診、乳がん・子宮がん健診(1000円)の無料化
- 路線バス半額補助(75歳以上)を全額補助へ。対象年齢の引下げ
- EVバスやめてタクシー代補助実施、福祉タクシー・乗合タクシーの充実

常陸秋そばを育て地産地消に協力しています



農業応援の市政に

- 農産物の価格保障・所得補償
- 農機具・肥料・資材への補助拡充
- 有機農業の推進と学校給食に有機農産物の利用促進
- ウッドチップパー(木材粉碎機)を増やし貸出促進

歴史と自然をいかす

- まちなみ・歴史・史跡保存に市が支援
- エネルギーの地産地消推進

市民アンケートの 声にこたえ頑張ります

新総合体育館建設費はかかりすぎ。普通の体育館でいいのでは。(30代 会社員)

両親の介護や看取りが不安。金銭的な負担軽減にもっと力をいれてほしい。(30代 パート)

EVバスが走行すると渋滞する。利用者も少なくムダ。山間部で足が不自由な人のための福祉車両の導入を。(70代 年金生活者)

乗合タクシー等スムーズに利用できる公共交通の確保がないと過疎化が進み人口減少につながると思う。(50代 会社員)

米農家、農業従事者を応援する所得補償制度を。(80代 農業)

東海第二原発は古いので廃炉にすることを望みます。(60代 年金生活者)

市民の ねがい

聞いて 届けて 知らせます

「値上げばかりで暮らしが大変」「資材高騰、物資不足で仕事ができない」という声があふれています。トランプ政権による無法なイラン戦争の一刻も早い終結へ、日本政府は外交を進めるべきです。私はJAひと筋40年、これまで耕作放棄地のそば畑への再生に取り組んできました。市がもっと農家支援に本腰を入れ、保育や介護で働く人の処遇改善、子育て支援や公共交通充実など、だれもが常陸太田に住み続けたいと思えるまちにしたいのです。希望が持てる市政実現へ、市民こそ主人公をつらぬき頑張ります。ご支援をよろしくお願ひします。

梶間さんに
バトンタッチ



常陸太田市議会議員

宇野たか子

10期38年、皆さまのご支援で議員として働くことができました。今期で引退し梶間さんに活動を引き継ぎます。梶間さんは豊富な知識と行動力で、PTAや町内会などで活躍し、そば栽培にも取り組み農業振興にも期待できる人です。私に倍するご支援をよろしくお願ひします。



梶間さとし

日本共産党

党市政くらし対策部長



憲法をいかした市政に 東海第2原発は廃炉

常陸太田民報

発行 日本共産党常陸太田市委員会 住所 常陸太田市内堀町3258-5 電話 72-4626
2026年6月 日本共産党の政策と活動をお知らせします

常陸太田市政はこれでいいのでしょうか？皆さんのご意見をおきかせください。



日本共産党 党市政くらし対策部長

かじま

梶間さとし

- 1959年金砂郷生まれ 66歳
- 水戸一高、茨城大学卒
- JA共済連茨城に勤務
- 金郷小学校PTA会長
- 常陸太田市PTA連絡協議会会長
- 中利員町会副会長を歴任
- 現在 地元で農業に従事
- 家族 妻 ●趣味 登山
- 事務所 常陸太田市東二町2229-4

市民に値上げ 一方で… 開発に税金投入

高すぎる国保税

市は国保税の値上げを繰り返してきました。今年度は子ども・子育て支援金分が増え年3115円の値上げ。国保会計の支払い準備基金6億3666万円（R6決算）を活用して引き下げるべきです。

介護保険料値上げ

自治体	基準月額
常陸太田市	5400円
那珂市	5280円
日立市	5150円
東海村	5000円

常陸太田市の介護保険料（基準月額）は近隣自治体と比べ高くなっています。日本共産党は介護保険支払準備基金（約4億6000万円・R6決算）の取り崩しなどで引下げを求めています。

後期高齢者保険料値上げ

昨年度と比べ13%（1人平均約1万円）値上げで年約8万8000円に。県の財政安定化基金約51億円（R6決算）や準備基金約88億円（R7末）の活用で引き下げるよう市は県に要望すべきです。

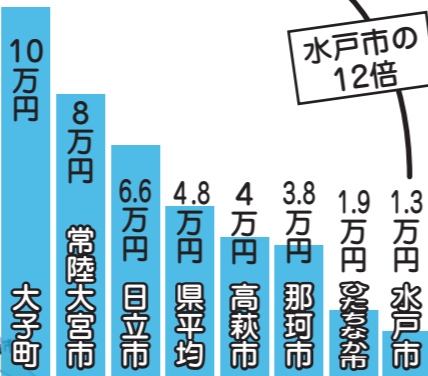
財源あります 財政調整基金 73億円

2024年度末
(令和6年度決算)

県内一多い!

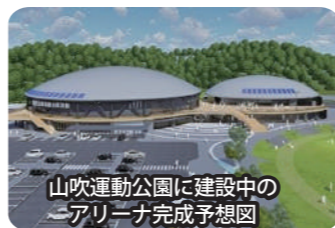
常陸太田市
市民一人当たり 約 **16万円**

市民のくらし・福祉など何にでも活用できる「財政調整基金」は73億円。市民一人当たり16万円は県内一多いのです。そのほか「まちづくり振興基金」も36億円ためこんでいます。開発にばかり税金投入するのをやめて市民の切実な願い実現に基金を活用すべきです。



財政調整基金以外にも
まちづくり
振興基金
36億円

新総合体育館アリーナ



当初46億円が **90億円** に倍増

建設費は46億円から70億円に増額を繰り返し、外構工事を含めて90億2000万円に。トップレベルの大会用にメイン・サブアリーナや約1300席の観覧席も整備。しかしプロバスケットチームの公式戦はできず、どの競技でどれだけ利用されるか不透明です。維持費は年約1.5億円程度と市は言いますが、どこまで膨らむのかわかりません。本当に市民にとって利用しやすい体育館になるのか、まったく不明のままです。

市道0139号整備

(真弓トンネル+橋5つ)

当初125億円が

264億円 に倍増



常陸太田市幡町と日立市金沢町を約5.5キロで結ぶ市道0139号線整備。約2キロのトンネルと5つの橋があり、資材高騰や工法変更を理由に建設費が倍増。市は新たな起債（借金）などで賄うと言いますが…。地元自治会は団地内を貫通する道路建設に反対しています。

自動運転EVバス

「じょっピー」をどう思いますか?



- 2024年から開始のEVバス。1台約8000万円を2台購入。車庫やシステム代のほか、維持管理に毎年1億円以上の予算が使われています。
- 市役所から商業施設などを周回する北回り・南回りルートともに1日3便のみ。周回約7キロを走るのに1時間かかります。
- 市民からは「EVに限らず市民の足をもっと確保すべき」との声が多数寄せられています。

東部区画整理 大型店は税金免除+水道料補助



区画整理地内に進出する大型店には
①固定資産税5年間免除 ②都市計画税5年分の奨励金 ③立地促進交付金5000万円(500万円×10年) ④上下水道料金1500万円補助(300万円×5年)

⑤新規雇用交付金1人10万円×5年など優遇策がめじろ押しです。物価高で大変な市民や市内中小企業にこそ、税金免除や水道料金減免をすべきではないでしょうか。

*各写真は市の資料より引用

日本共産党の議席は、ねがい実現の架け橋

実現へあきらめず

値上げに唯一反対

反戦平和 9条守る

宇野たか子議員は、議会で何度も学校給食無償化を求め続けて、とうとう実現しました。市民の声を議会に届け、全小中学校の教室にエアコンを設置することができました。

市は毎年のように国保税や介護保険料を値上げし、税金を厳しく取り立てる県租税債権機構にも委託。「くらし圧迫の値上げ反対」と主張したのは宇野たか子議員だけです。

米国トランプ大統領いいなりの高市政権で、軍事費は9兆円超え。くらしと平和を守る願いを、党をつかって104年、反戦平和を貫く日本共産党と梶間さとしに託してください。



市民のくらしのために活用を

県内一多い!

常陸太田市